

直接目的01

身近に相談できる人・場所があるかどうか

0101 保護者が、誰かに気軽に子育ての悩みを相談しようと思えることができる

気軽に子どもを連れて遊びに行ける場所があるか	保護者同士で話したり、相談したりできる場があるか
子育ての悩みがある時、相談できる所が思いついたか	
子育てに悩んだ時、誰に（どこに）相談しましたか	
保護者向けアンケート 「子育ての悩みを相談する人、場所はどこですか」	①相談機関（母子、ひまわり発達相談センター、こどもセンター、総合教育センター）
子育ての悩み、不安を相談する人や手段がありましたか	②学校、幼稚園、保育所、こども園に、悩みを相談できますか
切れ目ない支援がある年齢にかかわらず、相談できる場がある	市の子育て相談機関がどこに、いくつあるか知っているか
相談機関に行き悩みを相談できたか（助言をうけられたか）	相談できる場所、日程を知ることが出来る
	パンフレットの内容（事業等）は周知の際に十分検討されたものになっている
	相談の来所者数、実施回数、来所率

子どもの発達に心配のある保護者が必要なときに的確な情報・助言を受けられることができる

悩みを相談した時、適切な答えが得られたか
 子育てに悩んでいる時、相談に行って助言をもらい、良かった、助かったと思ったか
 相談したことによる満足（不満足）の割合

0102 子育てにかかわる支援者が、子どもの発達上の課題に気づき、保護者の話を受け止める

子育てにかかわる支援者が、気づいた発達上の課題について、保護者に伝えているかどうか聞く
 （子育て支援者が、）発達上の課題の受け止め方や伝え方の研修を行う
 子育て支援者が、それぞれの発達上の課題に気づくための研修を行う
 発達上の課題とは、どのようなものか共通理解されているか
 発達支援基礎研修、公開講座、各機関合同での研修の場

太線枠(色つき):ロジック・モデルの文言
 細線枠:今回のワークショップでの意見

的確な情報を得ることが出来た割合

0103 相談機関の連携が整っている

相談内容をしっかり受け止め、どこが対応すべきなのか、各機関が相談し、保護者に示しているのか。たらい回しはダメ!!	相談機関の情報交換回数（会議、打合せ）
各機関がどのように連携していけばよいのか、イメージできているのかどうか	様々な機関が意見交換をするケース会議を開催しているか
各相談機関が他の機関の業務内容を理解しているのかどうか	発達に課題のある子どもの支援について、会議や協議できる環境（場）があるか
中心となる機関が他機関をうまくつなぎ合わせているのか	相談機関（連携施設）の訪問回数
個別支援計画の策定 就学後の引き継ぎ（内容の整理）	
年齢に応じた相談機関が情報共有できているか	各相談機関が支援方針を共有する機会がある
幼保・小・中（高）から成人まで相談できる体制が整っているか	相談内容について各機関の回答が異なることはないか
行政施策としての各課の連携	